

「野の花の丘便り」6月下旬

エゾクガイソウ

夏至を迎え、植物の成長もピークを迎えています。センダイハギの黄色い花はピークを過ぎましたが、エゾクガイソウ、オカトラノオ、エゾカワラマツバ、ヨツバヒヨドリなどが次々と蕾をつけています。

エゾクガイソウは「野の花の丘」で存在感のある主役の花です。輪生する葉の繰り返しは九層にもなり、九蓋草とも九階草ともいいます。草丈は1.5m~2.0m、見上げるような大きさになり、鮮やかな紫色の花は下から上へと咲き、長さが20~40cmにもなります。これだけ沢山のエゾクガイソウが咲く場所はありませんかと思えます。

花言葉は「明るい家族」小さい花が密集し穂になって咲く様子が仲の良い家族のように見えるようです。

科名はオオバコ科、以前はゴマノハグサ科だったのですが、最近のミクロのゲノム解析による新しい分類体系でオオバコ科に変更になったようです。

植物の世界もDNA解析ですか、難しいですね。

エゾクガイソウ

蕾 (6月下旬)



花 (7月中旬)

